



1月24日
東地申30号

「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ 【五反田駅】団体交渉を行う！（その1）

1. 五反田駅において、これまで実施してきた施策に伴う課題について、会社の認識を明らかにすること。

回答：五反田駅では、様々な施策を実施してきたが、順調に推移しているものと認識している。

組合

◆これまでの施策において出札窓口を閉鎖してきたが、携わる機会がなくなったことで、知識・技能の低下につながっていると考えるがどうか？

◆施策実施後のトレースをしっかりとすべきだ

会社

◆確かに知識は薄くなっているかもしれない。ただ、一方で新たなサービスもあることから知識は増えている。

◆営業部として、駅と連携し行なっていく。

2. 五反田駅を駅業務全般委託とする目的と業務委託出来る根拠を具体的に示すこと。

回答：エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大や、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえて、資格を有する運転取扱業務が無いことから、駅業務全般委託を実施するものである。

◆今回、エルダー前提の方は1名しかいない。エルダー希望の方がどれだけいて駅を希望しているのかを示すべきだ！

示されないと具体的な議論が出来ない！今後示すことを求める！

◆人材育成の観点も入っているが、1項で議論したように、携わらなければスキルは低下する。そのような駅で、どのように人材育成ができるのか？

組合

会社

◆エルダー雇用の場の拡大だけではなく、他の考えもある。エルダー希望をしている方のデータは持ち合わせていない。

◆教育だけの観点でいえば、出札は残した方がいいかもしれないが、窓口閉鎖と業務委託は目的や考え方が違う。

指摘！

**グループ会社全体として知識・技術の
レベルアップをしていかななくてはならない！**

3. 株式会社JR東日本ステーションサービスからの実習生に対して行う教育について、教育内容、習熟度の把握方法について具体的に示すこと。

回答：引き続き、必要な教育は実施していく考えである。

◆教育の習熟度などは、支社として把握しているか？

組合

会社

◆しっかりと見習いが出来ている。残りの期間を活用し一本にしていく。



1月24日
東地申30号

「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ

【五反田駅】団体交渉を行う！（その2）

4. 五反田駅が管理している駅間の門扉について、施策実施後の取扱いについて考え方を示すこと。

回答：必要な周知は行っていく。

◆委託後にも、五反田駅として扱うことはあるのか？

組合

会社

◆五反田駅が単独で扱うことはない。連携を取って、目黒駅と五反田駅で扱うことはある。

5. 管理駅となる大崎駅の役割と体制について明らかにすること。

回答：当社と株式会社JR東日本ステーションサービス（以下、JESS）の間で締結している「作業請負基本契約書」等に基づくものである。なお、大崎駅の体制については、現行どおりである。

組合

◆大崎駅の役割は？
◆人身事故等の対応は？

会社

◆施設管理権は本体のため、大崎駅が管理する。助役が巡回する。
◆泊まりの駅務長を配置するので、五反田駅で対応可能と考えている。大崎駅から駆けつけることは考えていない。

6. 施策実施後、東急線との終電接続・逆接続（駅・指令・乗務員）の方法、情報のやり取り等について具体的に示すこと。また、終電接続が不接続となった場合、タクシー代行を行う際の考え方について具体的に示すこと。

回答：業務内容については、当社とJESSの間で締結している「作業請負基本契約書」等に基づき実施するものとなる。

組合

◆現行と変わらない方法か？

◆現行と同じ方法である

会社

7. 施策実施に伴う社員の異動・出向については本人希望、生活設計に配慮し実施すること。

回答：異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

組合

◆これまでもJESSへ業務委託を実施してきたことから、スキルは備わっていると考える。出向する必要はないのではないか？
◆出向の目的は何か？

会社

◆その駅の特情があるため、出向し教育する必要がある。
◆JESS社員の教育と出向者本人の成長のため。

グループ一体となってお客さまの信頼に応えるため、現場で働く人の「技能」「知識」のレベルアップが実現するよう仲間と共に議論を進めていきます！